

制度の創設 33 / 国家的な学術研究振興機関の設立 34 / 「科学研究費交付金」の
スタート―科学振興の基本施策に― 35

3. 戦後科学政策の確立への努力…………… 37

困窮の真中での研究者の訴え 37 / 打ち出の小槌の科研費 38 / 共同利用研究体
制の組織化と科研費 42

4. 錯綜する科学技術行政体制と科学政策…………… 45

政界主導で進む原子力政策 45 / 科学技術行政機構の多重化 46 / 科学政策との
関連はより複雑に 48

(ひとこと)…………… 50

国立大学法人化は果たして吉か凶か 50 / 課題の多い総合科学技術会議 53 / 基
礎研究は政策で方向づけられない 56

目次

推薦の辞（井口洋夫）	3
はしがき	8
第1章 科学政策の史的概観―研究体制・研究費の視点から―	25
1. 近代科学導入アラカルト	26
文明開化の途	26
大学の研究費事情	27
先覚者たちのミーム	29
2. 科学政策の生い立ちと展開	30
科学と技術の制度化の流れ	30
裾野を広げた学術研究体制	31
科学研究奨励	

科研費の拡充路線 78 / 最近の科研費施策の動向 80 / 今後の科研費制度改革
のストーリー 81

第3章 科研費の特質と配分審査（事前評価）体制 85

1. 基礎研究の特質からみた科研費の基本構造 86

しなやかな研究システム 86 / 科研費の配分審査の基礎 87

2. 「科学研究費」の配分審査体制の整備と運用の実際 88

2. 1. 戦後の配分審査体制 88

配分審査方法の仕組み 88 / 配分審査の原風景 89

2. 2. 厳正な審査・評価・選別基盤の強化整備 90

二段審査制 90 / 分科細目の体系と改善 91 / 5段階の採点法とその改善 93

2. 3. 配分審査の方法と運用の実際 95

配分審査機構の仕組み 95 / 基盤研究等の配分審査 96 / 特別推進研究等の配分

第2章 科学研究費補助金（科研費）制度の展開と改善……………59

1. 科研費の体系化の沿革……………60

基盤的な研究種目の枠組み 60／特定研究・特別研究の発足 61

2. 新制度への抜本改革（昭和43年度）……………62

2. 1. 改善の経緯……………62

2. 2. 二段審査を骨子とする改善策の内容……………65

2. 3. 改善策を巡る日本学術会議との対立……………66

審査委員推薦問題 66／分科細目、第2段審査委員の増で再び対決ムードに 67

助手の第2段審査委員選任を巡って 69

3. 新制度以降の科研費の制度・運用の改善状況……………70

第1期は基礎科学振興元年 71／第2期での新しい展開 72／第3期を迎えての

(ひとこと) 114

基礎研究と科研費 114 / 競争的研究資金の落とし穴 116 / 学協会活動の充実 118

第4章 科研費と研究評価 121

1. 基礎研究における研究評価事情 122

一般的な評価の観点 122 / 科研費による研究評価の特徴 124

2. 科研費の評価体系の整備 127

2. 1. 事前・中間・事後評価 127

国の研究開発評価の指針 127 / 科研費における評価 127

2. 2. 科研費の評価に関する体制の整備 128

評価のルール化 128 / 評価の内容 128

(ひとこと) 129

評価のための評価の研究 129 / 研究評価基準の多様性 131 / 評価には目利き人材

	審査	98	／	學術創成研究費	101	／	特別研究促進費	102
	2.	4.	透明性の高い科研費制度へ	………	………	………	………	103
			配分審査に関する情報の公開	103	／	不採択理由の開示	104	
	3.		「研究成果公開促進費」制度の整備と運用の実際	………	………	………	………	106
	3.	1.	研究成果発表への初の公的助成	………	………	………	………	106
			戦後の混乱時代に「学会誌出版補助金」新設	106	／	「研究成果刊行費補助金」として		
			一本立ち	108	／	「研究成果刊行費」に改称	109	
	3.	2.	「研究成果公開促進費」への体系化	………	………	………	………	109
			「研究成果公开发表」を新設し新しい展開へ	109	／	「特定欧文総合誌」の新設		
			の背景とは	110				
	3.	3.	研究成果公開促進費の運用	………	………	………	………	112
			配分審査の仕組み	112	／	學術定期刊行物	112	／
						學術図書	113	／
						データベース	113	
			研究成果公开发表	113				

4.	「特定領域研究」の発展的展開—弾力的な運用化—	152
4.	1. 「重点領域研究」の推進	152
	特定・特別研究の見直し	152
	「重点領域研究」の新設と特性	153
	「重点領域研究」の運用上の特徴	154
	時限到来後の措置	156
	「特定領域研究」へ衣替え	158
5.	「特別推進研究」の推進	160
	「もう一寸でノーベル賞」がキャッチフレーズ	160
	決断問われる採否	161
	正式の研究種目に	163
6.	「創成的基礎研究費」—トップダウン型新プログラムの展開—	163
	新プログラムの特性	163
	評価体制の充実等に伴う改正	165
7.	「科学試験研究費」—「基礎研究推進事業」制度の概念の始まり—	166
	終戦直後の産学官連携体制	166
	足枷をはめられた「産学連携」の改善	167
	出資金による「基礎研究推進事業」の発足	169

第5章 科研費の運営ノート—その多彩な軌跡— 135

1. 「基盤研究等」と採択率—実際の状況— 136

まるで宝くじの抽選 136 / 第2段審査での調整 137

2. 「特定研究」余話—パスにしのぎを削る— 139

特定研究課題の推薦 139 / 長居は嫌われる 140 / 特定研究のパスにしのぎを削る 141 / 生命科学の奔流の中で農学は 143 / 「サロン」で基本戦略を練る 144 / 研究計画策定・審査の小風景 145

3. 「特別研究」余話—目に見えない研究所システムの展開— 147

特別研究の特性 147 / 多様的に進化する特別研究の運営 148 / 新しい風を起こすチエツク・アンド・レビュー 149 / 時限付き特別研究の新発足 151

第6章 データで分かる科研費の実態……………189

1. 科研費の現状……………190

予算額の推移 190 / 応募・採択状況 190 / 研究分野別の採択状況 193 / 日米の新規採択率の比較 193

2. 科研費の学術貢献に関する調査の結果……………196

2. 1. アンケート調査の実施……………196

調査の目的 196 / アンケート調査の発送先・回収率 196

2. 2. 調査結果の概況……………197

科研費への依存度 197 / 科研費への期待 198 / 科研費の取得種目 200 / 科研費による研究テーマのタイプ 201 / 科研費による研究成果 202 / 科研費の充足度 203
重要な研究を支えた公的資金 205 / 科研費審査体制への評価と改善策 206

8.	「奨励研究」制度の展開―「若手研究」への発展―……………	170
	「奨励研究」種目の成り立ちと変遷	170
	170／若手研究者の研究環境の改善	171
	171／奨励研究	174
	173／特別研究員奨励費の新設	174
9.	「萌芽研究」の成り立ちと発展過程……………	175
	萌芽的研究の試行	175
	175／独立の研究種目に	176
	176	176
10.	「海外学術調査」がスタート―進展する「国際学術研究」―……………	177
	「海外学術調査」の発展的展開	177
	177／外国旅費に一部使用できる他の研究種目	179
	「国際学術研究」の充実	180
	180／「国際学術研究」を「基盤研究」に統合	181
	181	181
11.	廃止された研究種目……………	182
	COE形成基礎研究費	182
	182／地域連携推進研究費	184
	184	184
	(ひとしごと)	185
	185	185
	科研費と新規採択率	185
	185／新規採択率の今後の目標値	186
	186	186

研究の目的	221	／あまり専門的にならず、分かりやすく、簡潔に	222	／丁寧に、
セールスポイントを外さずに、的確な文章で	223			
3. 2. その他の留意事項	223			
申請カードの記入ミスのないように	223	／落ちても、自信を持って再挑戦を	223	
科研費を獲得するためには、長い目で対応を	224			

参考資料.....226

科学研究費補助金・年表1	大正3年～昭和40年（発展期―戦時動乱期―戦後変革期）	229
科学研究費補助金・年表2	昭和40年～現在（学術研究拡充期）	233

第7章 科研費の獲得のための手引き……………209

1. まず、科研費を理解しよう……………210

科研費の目的・性格 210／学術研究動向の把握 210／配分審査体制は公正に学問
的見地から211／公募要領は年々変わる 212／一般的な申請の心構え 213

2. 研究計画立案のポイント……………214

2. 1. 二段審査制の種目への申請……………214

採択される研究としての要件 214／研究種目・審査区分 215／研究課題 216／研
究内容 216／研究組織 217／研究経費 218／研究実績 219
2. 2. 特定領域研究への申請のポイント……………220
特定領域の設定 220／一般の公募研究 220

3. 上手な計画調書の書き方……………221

3. 1. 研究計画を理解してもらおう……………221